

PROFILE

1977年生まれ。元TKUアナウンサー。頑張る女性を応援するフリーペーパー「PRIMA」編集長。

出産して考え方が一変、
取材相手の生き方を受け止め、
愛おしく感じるように



フリースタイル「PRIMA」
編集部

熊本市中央区大江4-3-26
TEL : 096-221-6647
E-mail : prima@freestyle.dante.jp

2012年	2011年	2004年	2003年	2001年	1994年
「PRIMA」 編集長に	TKU退社	出産	結婚	TKU報道制作部 記者を経てアナウ ンサーに	TKUリポーター になる

輝きの軌跡

藤本愛英さんの
キャリアストーリー



取材担当
熊本大学2年
衛藤涼花

—どんな活動をされていますか。

藤本 女性のナチュラルライフを応援するフリーペーパー制作を中心に、親子がふれあえるイベントなども実施しています。これから何かを始めたいと思っている女性に役立つ情報を提供していきたいと思っています。—アナウンサーから編集者に転身された理由は何ですか。

藤本 正直に言うと、仕事を辞めて、専業主婦になろうと思っていました。子どもを出産後も仕事を続けていましたが、毎日とにかく時間に追われるばかりで…。子どもの習い事の送迎もママ友にお願いするなど、周りの人にたくさん支えられました。けれどある時から、この生活で本当にいいのかと考えるようになりました。自分を見直す時間を作りたいと思い、いったん家庭に専念するという選択をしました。その後、現在の仕事の話をいただき、自分のペースで活動を始めました。それまでの経験も十分に生かせ、自分にはこの生活が合っていると感じます。

—お子さんが生まれてから心境に変化がありましたか。

藤本 出産して考え方が一変しました。世話をする対象ができて、今までどんなに自分勝手に生きてきたのか

気づく機会を得たと思います。取材でお会いする方々に対しての意識も変わりました。一人ひとりの生き方を自分なりに受け止め、愛おしく感じることができるようになりました。—女子学生に向けてメッセージを。

藤本 学生の時からリポーターの仕事をしていたのですが、その他にもいろんなアルバイトをしました。自分よりはるかに年上の方々と仕事をさせていただいたことで、仕事に対する責任感を学ぶことができました。あまりに忙しくて睡眠時間がないくらいきついときもありましたが、今ではいい経験だったと思えます。皆さんもさまざまな経験をして、その中から、本当に自分の進みたい道を見つけてほしいと思います。

女性の自然な生き方、暮らし方が好き。自分もそうありたいと思うから…。

